

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成28年8月12日
【四半期会計期間】	第56期第1四半期（自平成28年4月1日至平成28年6月30日）
【会社名】	株式会社エンチョー
【英訳名】	ENCHO CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 遠藤 健夫
【本店の所在の場所】	静岡県富士市中央町2丁目12番12号
【電話番号】	(0545)57-0850
【事務連絡者氏名】	経営企画室長 鈴木 一精
【最寄りの連絡場所】	静岡県富士市中央町2丁目12番12号
【電話番号】	(0545)57-0850
【事務連絡者氏名】	経営企画室長 鈴木 一精
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第55期 第1四半期 連結累計期間	第56期 第1四半期 連結累計期間	第55期
会計期間	自平成27年4月1日 至平成27年6月30日	自平成28年4月1日 至平成28年6月30日	自平成27年4月1日 至平成28年3月31日
売上高 (百万円)	10,518	10,371	40,343
経常利益 (百万円)	182	207	209
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (百万円)	117	138	90
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	170	122	100
純資産額 (百万円)	9,379	9,093	9,039
総資産額 (百万円)	40,942	39,191	39,223
1株当たり四半期(当期)純利 益金額 (円)	8.62	10.13	6.64
潜在株式調整後1株当たり四半 期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	22.9	23.2	23.0

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用情勢に改善の動きがみられるものの、消費マインドの悪化などから個人消費がおおむね横ばいとなり、足踏み状態が続きました。

ホームセンター業界におきましては、激化する出店競争に加え、ネット通販や異業種も含めた販売競争もあり、厳しい状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは、地域の人々の快適な住まい・暮らしをサポートする企業グループを目指し、ホームセンター専門店化への推進、既存店の競争力強化を図るとともに、地域のお客様に支持される施策の充実に努めました。

また、在庫回転日数の短期化による財務体質の改善を目的とした在庫の適正化に取り組み、ホームセンター事業における在庫を前期末比3.3%圧縮することができました。在庫の適正化は、前期末に策定いたしました中期経営計画における重点取組項目の一つでありますので継続して取り組んで参ります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は10,371百万円（前年同期比98.6%）となりました。収益面につきましては、グループをあげて継続的に取り組んでおります経費削減が奏功し、販売費及び一般管理費が89百万円減少した結果、営業利益は248百万円（同113.0%）、経常利益は207百万円（同113.5%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は138百万円（同117.6%）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

ホームセンター事業は、防災意識の高まりを受け、防災用品が好調に推移したものの売上高は9,373百万円（同99.0%）となりました。セグメント利益（営業利益）は前述の収益力改善の取り組みの結果、210百万円（同135.9%）となりました。

専門店事業は、キャンプ用品が好調に推移したものの、売上高は744百万円（同96.5%）となりました。セグメント利益（営業利益）は、ホームセンター事業同様の取り組みの結果、11百万円（同102.5%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ32百万円減少し、39,191百万円となりました。

流動資産は、13,728百万円となり、前連結会計年度末に比べ493百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金の減少273百万円、商品の減少289百万円によるものであります。固定資産は、25,462百万円となり、前連結会計年度末に比べ461百万円増加いたしました。これは主に建物及び構築物の増加119百万円、土地の増加689百万円、敷金及び保証金の減少229百万円によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ86百万円減少し、30,097百万円となりました。

流動負債は、16,642百万円となり、前連結会計年度末に比べ164百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の増加873百万円、短期借入金の減少807百万円によるものであります。固定負債は、13,455百万円となり、前連結会計年度末に比べ251百万円減少いたしました。これは主に社債の増加414百万円、長期借入金の減少543百万円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ53百万円増加し、9,093百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加70百万円、その他有価証券評価差額金の減少25百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は、23.2% (前連結会計年度末は23.0%) となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	24,000,000
計	24,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成28年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成28年8月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	13,714,995	13,714,995	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	13,714,995	13,714,995	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成28年4月1日～ 平成28年6月30日	-	13,714,995	-	2,902	-	3,435

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成28年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成28年6月30日現在

区 分	株式数（株）	議決権の数（個）	内 容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	（自己保有株式） 普通株式 35,000	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 13,623,000	13,623	-
単元未満株式	普通株式 56,995	-	-
発行済株式総数	13,714,995	-	-
総株主の議決権	-	13,623	-

【自己株式等】

平成28年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%）
株式会社エンチャー	静岡県富士市中央町2丁目12番12号	35,000	-	35,000	0.26
計	-	35,000	-	35,000	0.26

（注） 当第1四半期会計期間末における自己株式数は35,896株であります。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成28年4月1日から平成28年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,543	2,270
受取手形及び売掛金	765	758
商品	10,250	9,960
仕掛品	25	33
貯蔵品	26	23
繰延税金資産	95	76
その他	517	607
貸倒引当金	2	2
流動資産合計	14,222	13,728
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,507	7,627
土地	11,767	12,456
建設仮勘定	28	29
その他(純額)	1,125	1,091
有形固定資産合計	20,430	21,205
無形固定資産		
	89	89
投資その他の資産		
投資有価証券	462	425
長期貸付金	1,176	1,149
敷金及び保証金	2,032	1,803
繰延税金資産	330	338
その他	487	458
貸倒引当金	7	7
投資その他の資産合計	4,482	4,168
固定資産合計	25,001	25,462
資産合計	39,223	39,191
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,754	6,627
短期借入金	8,484	7,677
未払法人税等	81	57
その他	2,157	2,280
流動負債合計	16,478	16,642
固定負債		
社債	-	414
長期借入金	10,340	9,797
退職給付に係る負債	801	770
資産除去債務	399	401
その他	2,164	2,071
固定負債合計	13,706	13,455
負債合計	30,184	30,097

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,902	2,902
資本剰余金	3,435	3,435
利益剰余金	2,685	2,755
自己株式	15	15
株主資本合計	9,007	9,077
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	66	40
退職給付に係る調整累計額	34	25
その他の包括利益累計額合計	31	15
純資産合計	9,039	9,093
負債純資産合計	39,223	39,191

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位 : 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
売上高	10,518	10,371
売上原価	7,459	7,361
売上総利益	3,058	3,010
営業収入	297	285
営業総利益	3,356	3,295
販売費及び一般管理費	3,136	3,046
営業利益	220	248
営業外収益		
受取利息	6	5
受取配当金	8	8
その他	13	14
営業外収益合計	28	29
営業外費用		
支払利息	56	47
その他	9	23
営業外費用合計	66	70
経常利益	182	207
特別損失		
店舗閉鎖損失	-	3
特別損失合計	-	3
税金等調整前四半期純利益	182	203
法人税、住民税及び事業税	10	32
法人税等調整額	53	32
法人税等合計	64	65
四半期純利益	117	138
親会社株主に帰属する四半期純利益	117	138

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	117	138
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	56	25
退職給付に係る調整額	4	9
その他の包括利益合計	52	16
四半期包括利益	170	122
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	170	122
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 偶発債務

保証債務

下記の連結会社以外の会社の金融機関よりの借入に対し債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
㈱無量寿	270百万円	

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
減価償却費	220百万円	197百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年5月25日 取締役会	普通株式	68	5.00	平成27年3月31日	平成27年6月8日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年5月23日 取締役会	普通株式	68	5.00	平成28年3月31日	平成28年6月8日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ホームセン ター事業	専門店 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,463	771	10,235	283	10,518	-	10,518
セグメント間の内部売 上高又は振替高	-	-	-	247	247	247	-
計	9,463	771	10,235	530	10,765	247	10,518
セグメント利益	154	11	165	22	187	32	220

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、木材卸売事業及び情報処理・プログラム開発事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位:百万円)

利益	金額
セグメント間取引消去	3
全社費用の配賦額の予算実績差異	28
合計	32

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ホームセン ター事業	専門店 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,373	744	10,117	253	10,371	-	10,371
セグメント間の内部売 上高又は振替高	-	-	-	247	247	247	-
計	9,373	744	10,117	501	10,619	247	10,371
セグメント利益	210	11	221	43	265	16	248

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、木材卸売事業及び情報処理・プログラム開発事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位:百万円)

利益	金額
セグメント間取引消去	1
全社費用の配賦額の予算実績差異	14
合計	16

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	8円62銭	10円13銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (百万円)	117	138
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益金額(百万円)	117	138
普通株式の期中平均株式数(千株)	13,680	13,679

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成28年5月23日開催の取締役会において、平成28年3月31日現在の株主名簿に記載された株主に対し、剰余金の配当(期末)を行うことを次のとおり決議いたしました。

- (1) 配当金の総額 68百万円
- (2) 1株当たり配当額 5円00銭
- (3) 効力発生日 平成28年6月8日

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成28年 8月12日

株式会社エンチャー

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 岡本 和巳 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 谷口 公一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社エンチャーの平成28年4月1日から平成29年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成28年4月1日から平成28年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社エンチャー及び連結子会社の平成28年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。